



山内地区交流センター化 準備委員会だより

第2号
令和3年
4月1日

～令和2年度 事業計画素案の検討～

1. 令和2年度の取り組みについて

山内地域では令和4年度からの地区交流センターの開設に向け、地区交流センター化準備委員会を開催し検討を進めました。

令和2年度は前年度のコミュニティ生活圏形成事業で検討したアイデアも取り入れながら、これからの山内地域にとって必要な事業を考えました。



2. 地区交流センターについて

ここでは、地区交流センターがどのような位置付けなのか改めて説明します。

令和2年度の話し合いで出た質問と回答を合わせて、地区交流センターについて確認してみましょう。

地区交流センターはどんな位置付け？

現在、生涯学習や社会教育事業は市(公民館)が行っています。

地域の方々が、生涯学習によるひとづくりや市民協働による地域づくりを目的として、自主運営組織等を設立し、地域づくりも含めた自主的な活動を地域で話し合い、計画・実施していく拠点となるのが、「地区交流センター」です。

地区交流センターは、これまでの公民館職員に代わり、地区交流センター職員(センター長、事務員)や自主運営組織が主体となって、生涯学習事業や地域づくり事業などを行います。

自主運営組織とは？

地区交流センター事業を行う住民組織です。
【自治会、消防団、PTA、老人クラブ、などの各種団体で構成】



地域づくり事業とは？

地域の課題解決や地域の特色・独自性を活かした事業をいいます。【例えば、伝統文化の継承など】

地区交流センター職員は？

準備委員会などからの推薦を受け、会計年度任用職員として、センター長と事務員を市が任命します。



地区交流センターの設置場所は？

山内庁舎内に設置する予定です。

3. 令和2年度の話し合い

令和2年度実施したワークショップ(全5回)の内容を以下にまとめました。

第1回 勉強会(10月19日)

計画策定に先立ち、地区交流センター化準備委員会の協議状況や運営体制案、地区交流センターの機能や役割、前年度のコミュニティ生活圏形成事業の結果について理解を深めました。

第2回 事業アイデアの検討(11月10日)

前年度の検討結果を踏まえた山内地域の現状共有、地区交流センターで取り組む事業アイデアの検討を行いました。

第3回 事業アイデアの絞り込み(12月3日)

第2回で検討したアイデアについて、実現可能性と地域にとっての重要度の2つの視点で絞り込みました。また、アイデアを5つの分野に振り分けました。

第4回 事業アイデアの具体化(1月21日)

第3回の協議をもとに参加者が希望する分野別で検討班をつくり、アイデアの具体化を行い、実践時に地域で出来ること、行政等に担ってほしいことをそれぞれ検討しました。



第5回 事業アイデアの確認(2月9日)


各分野の活動案を計画の形にとりまとめたものについて、分野別の班で加除修正し整え、全体で共有しました。



4. 話し合いで検討した事業

話し合いでは、参加者の皆さんから多くの事業アイデアが提案され、その中でも「山内地域にとって重要」かつ「実現可能性が高い」ことを踏まえて事業を絞り込みました。絞り込まれたアイデアを具体化したものが以下の事業です。

部会名	事業名	内容
健康・スポーツ部会	① 山内運動会の復活 	<ul style="list-style-type: none"> 住民全体で盛り上げられるイベントとして運動会を復活させる。住民同士が交流し、地域の活性化を図る。 競技種目を多目的にし(トランプ、麻雀、カラオケなど)幅広い年齢層の参加を促す。
生涯学習部会	① 山内の山の恵みの再発見	<ul style="list-style-type: none"> 山菜、キノコ、動物など山の知識を教える講師の発掘と住民へ知識の普及を図る。後継者不足のハンターの養成にもつなげる。 
	② 山内の文化の勉強会	<ul style="list-style-type: none"> 山内の歴史文化の継承、保存(映像化など)のため、地域住民に知ってもらう。

部会名	事業名	内容
地域づくり部会 	① 共助組織の促進	・ 人口減少地域でも助けあいで暮らしやすくするため各地区、又は合同で組織を立ち上げる。
	② 地域公共交通の維持確保	・ 山内地域内での移動困難改善とイベント参加に公共交通を活用し孤立を防ぐ。
	③ 買い物環境の整備	・ 地域の人が集い、商品を選び購入する楽しさを提供する。一人暮らしの見守り対策にもつなげる。
その他	※旧山内中学校の利活用	・ 地域の活動拠点として、どの世代も集える場所作り。居酒屋、学習スペース、キャンプ場、野菜の栽培、カフェとして活用し、地域外交流人口を増やす。

令和3年度はこの事業アイデアを基に、これまで山内生涯学習センターで実施してきた、山内キッズクラブ、よろず出前塾などの行事やイベント、各種講座等を踏まえ、令和4年度から地区交流センターで行う事業の計画検討を行います。

5. 準備委員会の体制と今後の進め方

現在、準備委員会は区長や体育協会、山内小学校 PTA 等の代表者や公募により参加している方々で組織しています。

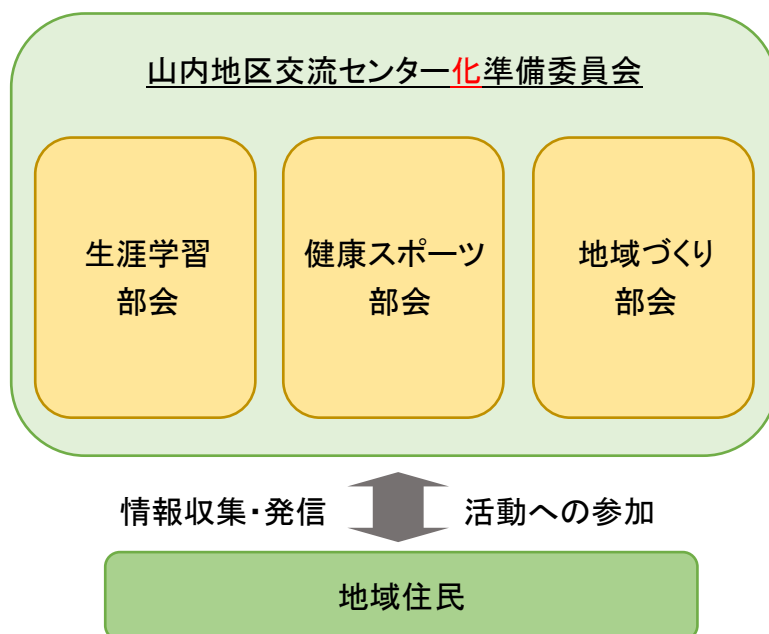
そして、事業計画を具体的に進めるため、3つの部会（右図参照）を設けています。令和2年度の事業アイデアを基に、計画を策定するため部会ごとに話し合いを進めます。

皆さん一人ひとりが持つ知識や経験などを活かし、山内地域をさらに暮らしやすい地域にしていくため、一緒に考えてみませんか？

参加をお考えの方は、別紙の申込用紙を山内地域課（協働係）までご提出ください。詳しくは次ページをご覧ください。



実施体制図



山内地区交流センター化準備委員会

部会委員を募集します！

- 山内地区交流センター事業計画立案に協力できる地域住民の方
- 当事業に興味のある方



お気軽にお問合せください♪

○主な活動内容

- ・提案された事業アイデアを基に計画を策定

◎活動期間・頻度

- ・5月～翌年3月
- ・月1回程度（主に5月～9月、10月以降は必要な場合のみ）

◎申込方法

- いずれかの方法で申し込みください。
- ・申込用紙（別紙）へ必要事項を記入のうえ、直接窓口へご提出ください。
 - ・FAX、電話での申込可能です。

申込締切

★令和3年4月20日（火）

申込・問い合わせ先

山内地域課 地域協働係 電話 53-2187（直通）/ FAX53-2140
横手市山内土淵字二瀬 8-4